

祝福 避難所包む



受け入れ先 見附市が「卒業式」

福島県から避難してきた小学6年生に「卒業おめでとう」。見附市は24日、東日本大震災のため、地元で卒業式ができなかつた3人を対象に、同市の

開設する2避難所で卒業を祝う会を開いた。久住町男市長が卒業証書代わりの賞状を手渡し、母校の校長からのメッセージも代読された。

母校の卒業式が中止になつた児童を励まそうと、市ど市教育委員会が計画。福島県教育委員会

校長ら 福島3児童に贈る言葉

木元さんへの校長のメッセージは、「勉強と吹奏楽、そして自分の目標に向かってがんばって」との内容。木元さんは「避難先でお祝いしてもらえるとは思っていないかったのでうれしい」と喜んだ。

見附市中央公民館では、いわき市の6年生男子に担任のメッセージなどを渡した。見附中の2年生114人が駆け付け、卒業式の定番ソング「旅立ちの日に」の合唱をプレゼントした。

また、海の家には長岡市の寺泊小の校長や児童が訪れ、木元さんと飯屋崎君に卒業証書代わりの賞状を渡した。2人は1日2回の祝福に驚いた。

卒業証書代わりの賞状などを受け取る
南相馬市から避難中の小学6年生。校長のメッセージも伝達された。24日、長岡市寺泊郷本の見附市海の家

見附市の海の家では、南相馬市原町第三小の木元美里さん(12)と同石神第二小の飯屋崎修平君(12)が、約60人の避難者が見守る中、賞状や記念品を受け取った。メッセージが書かれたカードも渡され、大きな拍手を受けた。

木元さんへの校長のメッセージは、「勉強と吹奏楽、そして自分の目標に向かってがんばって」との内容。木元さんは「避難先でお祝いしてもらえるとは思っていないかったのでうれしい」と喜んだ。

見附市中央公民館では、いわき市の6年生男子に担任のメッセージなどを渡した。見附中の2年生114人が駆け付け、卒業式の定番ソング「旅立ちの日に」の合唱をプレゼントした。

また、海の家には長岡市の寺泊小の校長や児童が訪れ、木元さんと飯屋崎君に卒業証書代わりの賞状を渡した。2人は1日2回の祝福に驚いた。